

大腸がんへの化学療法が体の脂に及ぼす影響の研究のお知らせ

(「臨床資料および手術摘出物の研究・教育目的での使用」ご協力頂きました

患者様およびご家族の皆様へ)

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年5月21日～2025年3月31日

〔研究課題〕

大腸がん患者に対する化学療法の効果と脂質分子種のプロファイリングに関する後ろ向き研究

〔研究目的〕

この研究は、大腸がん（下部消化器がん）に対して行う化学療法が、実際にどの程度の効果が得られているかという点を、脂質を中心とする様々な代謝産物の変動から推測することはできないかということ調べるものです。

〔研究意義〕

本研究によって、抗がん剤療法の治療効果を予測する上で信頼できる指標が見出され、より質の高い化学療法を選択できるようになることが期待されます。

〔対象・研究方法〕

2008年1月1日から2019年3月31日までの間に、帝京大学附属病院を受診し、「臨床資料および手術摘出物の研究・教育目的での使用」に関する説明を受け、ご同意を頂いた上で採取させていただきました試料について、高速液体クロマトグラフィー・質量分析器を用いて脂質などの代謝産物の解析を行い、大腸がんなどの患者様の解析結果と比較します。

〔研究機関名〕

帝京大学薬学部と帝京大学医学部外科学講座による研究です。

〔個人情報の取り扱い〕

試料は匿名化して管理します。結果などの外部への発表においても匿名化して取り扱われます。情報は研究期間終了後10年間保管されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者：濱 弘太郎(准教授)

研究分担者：橋口 陽二郎(教授)、端山 軍(講師)、金子 建介(助教)、横山 和明(教授)、
藤原 優子(助教)

住所：173-8605 板橋区加賀 2-11-1 帝京大学薬学部物理薬剤学研究室

TEL:03-3964-8197 [内線 48432]